



諏訪湖通信75号

令和6年9月20日号 発行: 諏訪湖創生ビジョン推進会議



阿部知事と共田県議らが諏訪湖を遊泳しました

8月23日(金)、下諏訪町赤砂崎の砥川河口付近で阿部知事が諏訪湖を遊泳しました。当日の諏訪湖は雲がなく最高気温30℃を越える真夏日でまさに遊泳日和でした。阿部知事は今年4月に全線開通した諏訪湖サイクリングロードを自転車に乗って会場に到着。

遊泳前に、既に何度も諏訪湖を遊泳している共田武史県会議員から「諏訪湖を実際に泳ぎ、まずは諏訪湖を楽しんでほしい。また肌で感じることで見えてくる課題を認識してほしい」とご挨拶があり、宮下克彦議員、丸茂岳人議員、竹花諏訪地域振興局長、胡桃諏建設事務所長の計6人が諏訪湖を遊泳しました。



(諏訪湖から手を振る様子、中央: 知事) (サイクリングの様子)

また、コースタルローイング競技日本代表の原織江選手と一緒に知事がローイング艇を楽しむ場面も見られました。遊泳後、知事からは「改めて諏訪湖の可能性を感じた。一方で泳げる場所として整備(湖底の状態や水辺環境等)の必要性も認識できた。水の中でも魚も人間も楽しめる“諏訪湖”を目指して、流域市町村と協力して推進していきたい」とお話がありました。



(コースタルローイング艇) (遊泳後、知事と自民党県議の皆様)

諏訪湖の日ガイドブックを発行しました

10月1日は「諏訪湖の日」。概ね9月～10月を中心に諏訪湖に関わる取組や企画を「諏訪湖の日プロジェクト」として取りまとめました。今年も様々な企業・団体の皆様が企画を考えてくださいました。是非、諏訪湖に訪れていただき、皆さんの思い思いの方法で、諏訪湖に親んでください。

「諏訪湖の日」ガイドブック及び「諏訪湖の日プロジェクト」は、県ホームページ <https://www.pref.nagano.lg.jp/suwachi/suwachi-kikaku/vision/suwakonohi.html> に掲載しています。

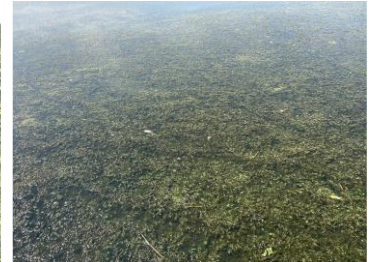


水草(ヒシとクロモ)の様子について

9月5日(木)、諏訪建設事務所の水草刈取船によるヒシ刈りも大詰めを迎えた頃、諏訪湖面に目を落とすとヒシの花を見つけました。さらによく見るとヒシが繁茂していないところは、クロモの繁茂が確認できました。信州大学名誉教授の沖野外輝夫先生によると「湖内ではヒシとクロモが生存競争しており、昨今ではヒシに負けじとクロモが湖内で生息域を拡大しつつある」とのことです。ヒシの大量繁茂も課題ですが、今後はクロモの繁茂状況も無視できなくなりそうです。”人と生き物の共存”の実現に向けて、物言わぬ植物に配慮しながら人間の暮らしについて考えていくことが必要と感じました。



(ヒシの花)



(繁茂したクロモ: 石彫公園付近)

2024 クリーンレイク諏訪ふれあいまつり開催

9月14日(土)、諏訪市豊田のクリーンレイク諏訪において、5年ぶり完全復活の開催となったふれあいまつりは多くの方の来場があり、かつての賑わいを取り戻しました。下水道の仕組みを学ぶ施設見学のほか、書道やダンスパフォーマンスなども行われ多くの来場者が楽しみました。また、諏訪湖創生ビジョンブースも出展させていただき、下水道の整備等によって泳ぐことができるほどに水質が改善した今の諏訪湖があること、また約40年前の昭和54年10月1日に諏訪湖流域下水道の一部利用を開始した日にちなんで「諏訪湖の日」を10月1日としたことをPRしました。



(処理場施設を熱心に見る見学者) (諏訪湖創生ビジョンのブース)



～諏訪湖環境研究センター開所記念イベント～ 諏訪湖の日フォーラム2024を開催します!

9月29日(日)は、「諏訪湖の日フォーラム」!!! 誰もが楽しめる企画が盛りだくさん。皆様のご来場お待ちしております。



諏訪湖創生ビジョン推進会議は、「人と生き物が共存し誰もが訪れたいくなる諏訪湖」の実現を目指し取り組みます。事務局: 諏訪地域振興局企画振興課 TEL: 0266-57-2901